

第72回国民体育大会(えひめ国体)・第17回全国障害者スポーツ大会  
 (えひめ大会)の結果について

第72回国民体育大会「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」

- 大会開催期日 平成29年9月30日(土)～10月10日(火)  
 [会期前:9月9日(土)～17日(日)]
- 開催地 愛媛県
- 今大会の成績  
 男女総合(天皇杯)成績39位(802.5点) [H28 33位(888点) H27 24位(940点)]  
 女子総合(皇后杯)成績42位(442点) [H28 38位(466.5点) H27 26位(486点)]  
 成年男子37位(H28年26位)、成年女子25位(H28年31位)  
 少年男子31位(H28年21位)、少年女子47位(H28年40位)  
 (図1、2、3、4、5)

□ 今大会の状況

評価できる点	昨年に比べ振るわなかった点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年入賞がなかった競技種別が入賞して得点を獲得した。                      (ソフトボール成年女子が10年ぶりの入賞、銃剣道少年男子が準優勝)</li> <li>・成年女子が116.0点を獲得し、過去10年で最も高得点となった。(図3)                      (バレーボール成年女子3位、ソフトボール成年女子3位、陸上競技(棒高跳び)2位など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年種別、特に少年女子の入賞が1種目にとどまり、少年女子種別の得点獲得順位が47位となった。(図5)</li> <li>・過去安定して得点を獲得している競技種別が低迷した。(ホッケー、馬術、アーチェリー) (図6、7、8)</li> <li>・個人種目が近畿ブロック大会で多く敗退したことにより近畿ブロック大会の突破数が前年を下回った。                      (ライフル射撃、カヌー少年女子)                      (表1)</li> </ul>

□ 今後の対応

◎目標 充実期(H29～H32)の目標10位台、1200点。平成30年度は20位台前半への進出を目指す。

○ 安定的得点獲得競技種別の競技力維持とさらなる向上

競技団体の遠征数の増加など強化計画の見直しを行うことにより、高い競技力の維持を図る。

(ボート、ホッケー、バレーボール、レスリング、ライフル射撃、カヌー、アーチェリー各競技)

- 2024滋賀国体で中軸となる年代の少年種別の一層の強化  
ターゲットエイジに対する強化事業や次世代アスリート発掘育成プロジェクト事業による選手発掘、強化拠点校重点強化などにより少年種別の選手強化に努める。
  
- あと一步で入賞やブロック大会突破が見込める競技種目に対する戦略的強化  
近年力をつけてきて本大会に出場した競技やブロック大会を次点で敗退した競技の強化計画の見直しを行い、安定的に競技力を発揮できるように取り組む。  
(水球、サッカー、バスケットボール、ウエイトリフティング、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ラグビー、山岳、銃剣道、アイスホッケー各競技)
  
- 競技力の高い選手の発掘と成年選手の就職支援の取り組み  
競技団体と協力して競技力の高い選手を獲得するため、県内企業で働きながら競技が継続できる仕組み作りを行う。
  
- 全国レベルと競技力の差が大きい競技種別の強化方策の確立  
強化に係る仕組み作りのための研修実施や競技・種別をこえた情報交換の場を競技団体に提供して今後の強化方策を確立できるよう促す。

## 第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ大会」

- 大会開催期日 平成29年10月28日（土）～30日（月）
- 開催地 愛媛県
- 今大会の成績 個人・団体出場種目数 11種目 【H28 10種目】  
金メダル19個 銀メダル8個 銅メダル8個 計35個  
大会新記録3 自己新記録9

- メダル数および記録の推移

大会	出場種目数	出場者数	メダル数				大会新記録	自己新記録
			金	銀	銅	計		
第15回和歌山県(H27)	10	33	16	17	12	45	5	16
第16回岩手県(H28)	10	27	16	14	5	35	3	11
第17回愛媛県(H29)	11	42	19	8	8	35	3	9

- 出場者内訳（※個人競技の選手枠は、主催者から指定される）

競技名		種目数	H27 和歌山県	H28 岩手県	H29 愛媛県
個人	陸上	2	10	10	12
	水泳	2	5	4	3
	卓球	2	6	4	4
	フライングディスク	2	7	5	5
	アーチェリー	1	2	2	1
	ボウリング	1	3	2	2
団体	ソフトボール	1			15
合計			33	27	42

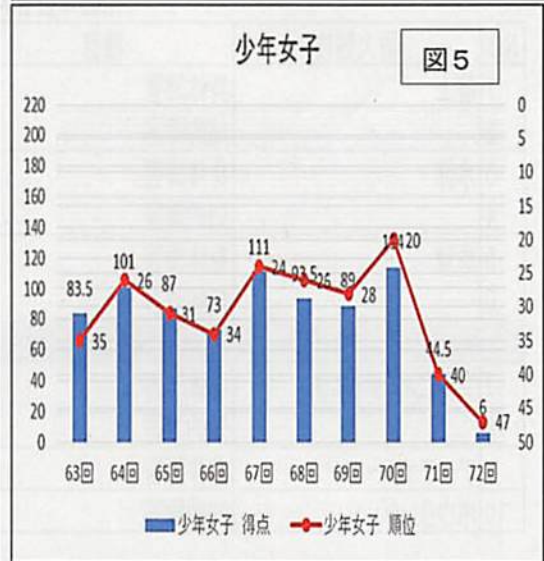
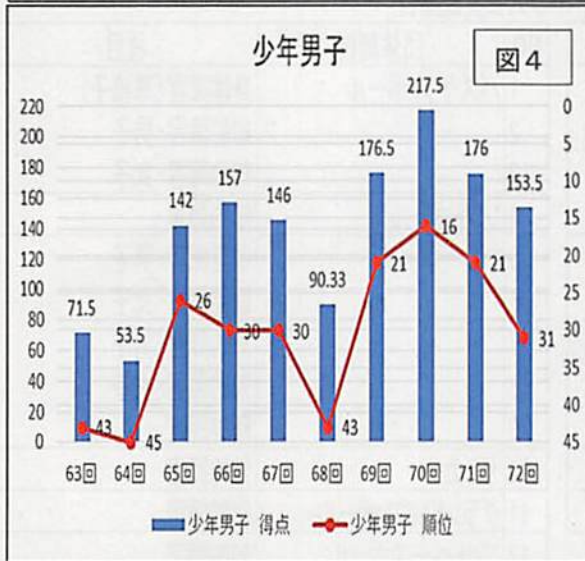
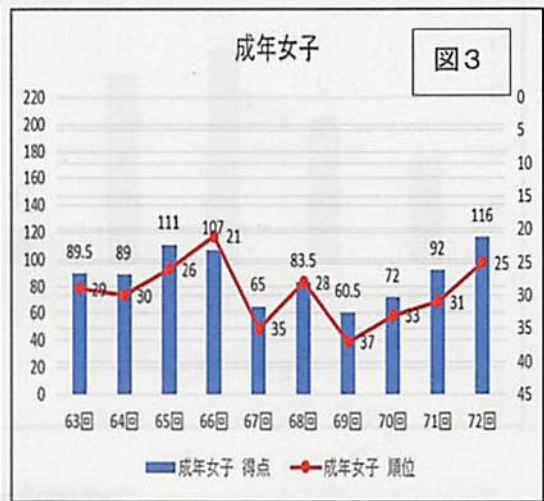
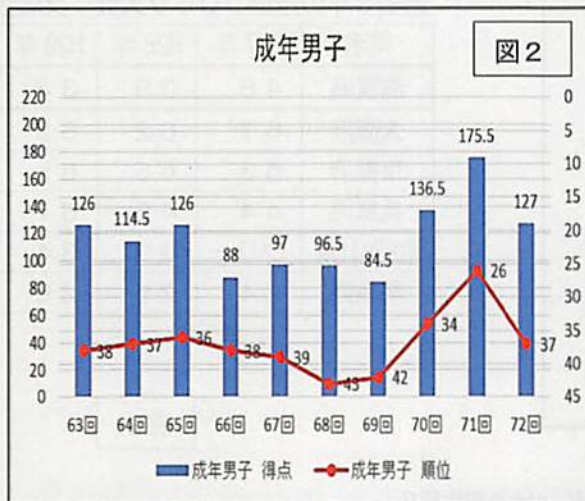
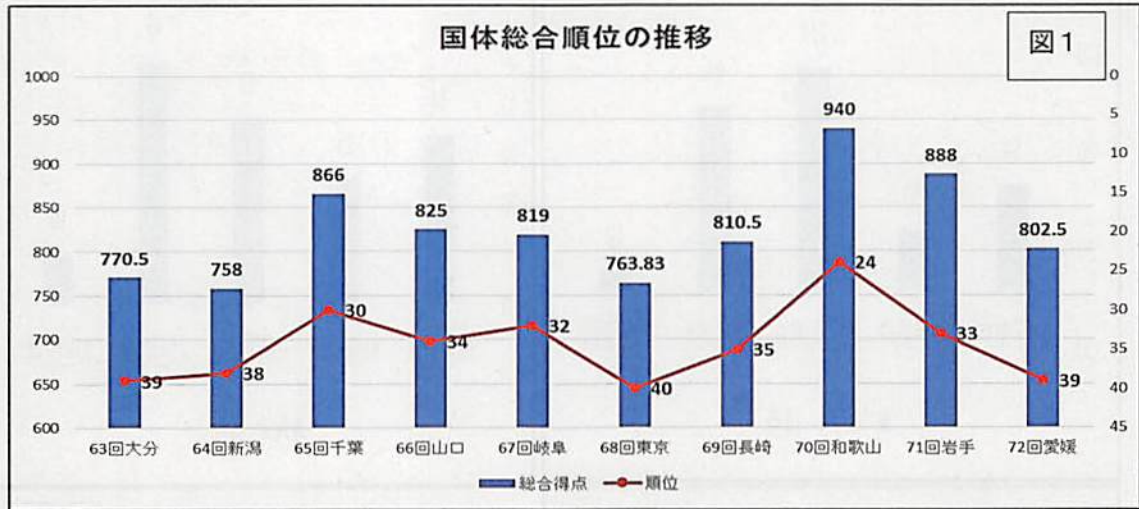
※団体競技は、H29年度にソフトボールが近畿地区予選会を勝ち抜き、えひめ大会に出場した。  
※競技種目数は表2

- 今後の対応

◎目標 充実期（H29～H32）の目標 全国障害者スポーツ大会出場種目数（個人・団体）  
12種目

- 団体競技チームの選手発掘と育成  
県内大学や特別支援学校、地域総合型スポーツクラブと連携してチーム作りが遅れている種目の選手発掘と育成に努める。
- 障害者スポーツの窓口作りの推進  
競技団体に障害者スポーツの担当者の配置や、スポーツ教室・体験会の開催を働きかける。

別添資料





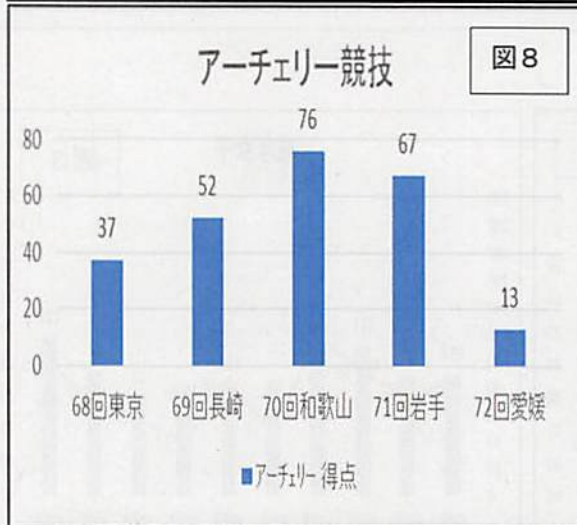
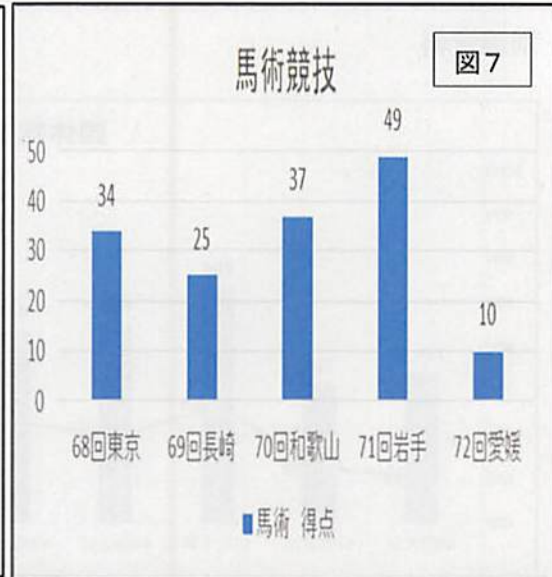
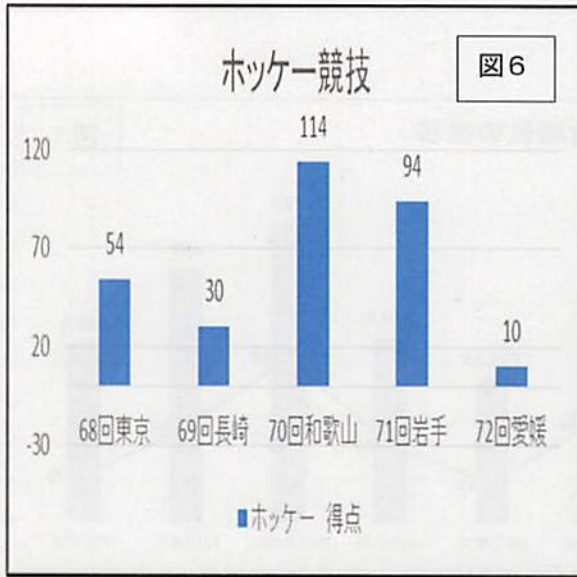


表 1  
過去3年の近畿ブロック大会 突破数

県名	H27年	H28年	H29年
滋賀県	4 6	3 9	3 3
大阪府	6 7	6 2	6 8
京都府	6 3	6 5	6 5
兵庫県	4 4	4 5	5 7
和歌山県	フリー	3 9	3 4
奈良県	2 4	2 6	2 6

表 2

#### 全国障害者スポーツ大会実施種目

NO	個人競技	種目	NO	団体競技	種目
1	陸上	身体障害	1	バスケットボール	身体障害(車椅子)
2		知的障害	2		知的障害・男子
3	水泳	身体障害	3		知的障害・女子
4		知的障害	4	ソフトボール	知的障害
5	卓球	身体障害	5	バレーボール	聴覚障害・男子
6		知的障害	6		聴覚障害・女子
*		精神障害(H31年度から実施)	7		知的障害・男子
7	フライングディスク	身体障害	8		知的障害・女子
8		知的障害	9		精神障害
9	アーチェリー	身体障害	10	サッカー	知的障害
10	ボウリング	知的障害	11	グランドソフトボール	視覚障害
			12	フットベースボール	知的障害